

公表		事業所における自己評価総括表			
○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス でいじーさつきが丘				
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ~ 令和7年3月15日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援 17名 放課後等デイサービス 11名	(回答者数)	児童発達支援 10名 放課後等デイサービス 7名	
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ~ 令和7年2月15日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 25日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に全職員でモニタリングを行い、現状の様子、成長段階に合わせて支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っています。	ミーティング他、全職員で様々な情報を収集した上で利用児のアセスメント、分析を実施し、多角的な視点をもって児童発達管理責任者が支援計画の作成、見直しを行っています。	今後も、ひとりひとりの利用児に対して全職員が理解を深め、チームで意見を出し合い必要な支援を行ってまいります。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解を持っていると考えております。	送迎時の申し送りを重視していることに加え、個人記録、おたよりの配信、懇談会など、子どもの発達の状況や課題について話をする機会、共有する機会を豊富に設けております。	今後、保護者支援の一環として、保護者会等で、プロジェクト活動や子どもたちの成長を伝える機会を持つことが共通理解を持つことだけでなく、一緒に学びを深める機会や子どもたちの発達や成長を理解する視点を伝えるというペアレン트トレーニング等の方向にもつなげていきたいと考えております。
3	しっかりと児童に向き合い、保護者とも真摯に向き合っていると考えております。	計画書作成にあたり、保護者のニーズをしっかりと抑えるとともに事業所内会議で積極的に従業員が意見を出し合い、建設的な議論を行っております。	児童に向き合うにあたって、様々な意見が出やすいように雰囲気づくりを気を付けております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを全て策定し、訓練の実施を行っています。契約時に重要事項説明書で保護者に説明を実施していますが、保護者側の周知に至りにくい現状があります。	全てマニュアルを作成し、マニュアルに基づいて研修や訓練を実施し備えていますが、マニュアル策定、訓練実施現状の説明が不十分であったのではないかと考えられます。	契約時に、各種マニュアルを揃えて提示し、マニュアルについて、また訓練についても説明時間を今までよりもしっかりと取ります。あわせて、安全計画の説明についてモニタリング実施時にを行い、不明な点がないか確認します。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	保護者同士の交流する機会が少ないです。 きょうだい向けのイベントを開催していません。	定期的に保護者の方に事業内容や活動内容、子どもたちの成長を伝えられるような機会や保護者同士の交流の機会を継続して設けていきたいと思います。また、参加しやすい曜日や時間帯、参加してみたい内容など、保護者の意向を取り入れ、様々な方法を試していきたいです。
3			